宿題

小川未明

青空文庫

戸田は、お父さんがなくて、母親と妹と三人で、さびしく暮らしているときいていたので、賢吉は、つねに同情していました。それで、自分の読んでしまった雑誌を、

「君見るならあげよう。」と、与えたこともありました。

学校へきても、戸田のようすは、なんとなくさびしそうだった。親しい友だちもなく、いつも独りでいました。運動場へ出ても、賢吉のほうから、話をしなければ、だまっているというふうでありました。遠足の日が、近づいたときでした。みんなは、集まれば、楽しそうに、その話をしていました。

「海へいったら、かにをつかまえてこよう。」と、いうものもあれば、

「僕は、きれいな石をたくさん拾ってくるのだ。」と、いうものもあります。

「針と糸を持っていって、魚を釣ろうかな。」

「ばか、そんなことできるもんか、生きているたこを売っているというから買ったらいいよ。」と、いったものもあります。

そんなときでも、戸田は、黙ってみんなの話をきいていました。

「君もいくだろう。」と、賢吉がいうと、戸田は、口のあたりに寂しい笑いをたたえて、うなずきました。

遠足の前の晩でした。賢吉はお母さんにつれられて、明日持っていく、お菓子を買いに出かけました。

「キャラメルは、二箱あれば、いいでしょう。」と、お菓子屋で、お母さんが、おっしゃると、

「三箱、買ってよ。」と、賢吉は、いいました。

「まあ、そんなに食べられて?」と、お母さんは、お笑いになりました。

こんどは、果物屋の前にきて、

「りんごは、いくつ?」と、お母さんが、おっしゃると、

「四つ買ってよ。」と、賢吉はいいました。

「そんなに持っていくの?」

お母さんは、驚きなされたけれど、賢吉のいうようにしてくださいました。そして、お家へ帰って、お弁当にお寿司を、こしらえてくだされたのです。

「お母さん、たくさん入れてよ。僕、お腹がすくのだから。」と、賢吉は、お頼みしました。

「おまえは、どうしたんですか、いくら遠足でも、そんなに食べられるはずがないでしょう。」と、お母さんは、賢吉の顔をごらんになりました。

賢吉は、うそをいっては悪いと思って、かわいそうなお友だちに分けてやるのだと答えると、お母さんは、喜んで賢吉のいうようにしてくださいました。しかし、戸田は、ついに遠足にこなかったのです。

ある日のことでした。算術の時間に、先生は、戸田が、宿題をしてこなかったので、たいそうおしかりになりました。

「おまえには、新しい問題をやらない。」と、いって宿題の刷ってある紙をお渡しになりませんでした。そのうちに、暑中休暇となりました。ある暑い日の午後のこと、賢吉の父親は、外から汗をふきながらもどりました。

「いま、彼方の田圃道を歩いてくると、ひきがえるが、かまきりを

のもうとしていた。」と、話されました。

「それから、どうした?」と、賢吉は、目をまるくして、ききました。

「かまきりも大きいから、かまを振り上げて、横目で、じっとひきがえるを見ていたぞ。」と、お父さんは、答えました。

「お父さんは、なんで助けてやらなかったの。」

「かまきりだって、小さな虫を食べて、生きているのだもの。」

「だって、かわいそうじゃないか。」と、賢吉は、お父さんに、怒りました。そして、その場所をきくと、すぐ自転車に飛び乗って走りました。

雲のない空に、日が輝いて、草の葉先がちかちかと光っています。彼は、すぐ川のところへ出ました。お父さんから聞いた場所を、よく探しても、かまきりもいなければ、ひきがえるも見つかりませんでした。

「どうしたのだろうな、もう食べて、どこかへいってしまったのだろうか。」と、草を踏み分けると、いろいろのほかの虫が飛び出しました。賢吉は、はじめて自分のめめしかったのがわかったような気がしたのです。

「なにしているの?」

だれか声をかけたので、見ると、夕刊を配達している戸田でした。戸田の顔は、汗と元気に光って、いきいきとしていました。賢吉は、なつかしげに彼のそばへ寄ると、

「僕、宿題でわからないところがあるから、聞きにいってもいい?」と、戸田が、いいました。

「いいとも、先生は、君の働いているのを知らないのだよ。」

賢吉は、家へ帰ってお父さんにそのことを話すと、

「その子のほうが、おまえよりよほど強いのだぞ。」と、お父さんは、戸田をおほめになりました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　12」講談社
　　1977（昭和52）年10月10日第1刷発行
　　1982（昭和57）年9月10日第5刷発行
底本の親本：「小学四年生」
　　1938（昭和13）年8月号
初出：「小学四年生」
　　1938（昭和13）年8月号
※表題は底本では、「宿題《しゅくだい》」となっています。
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：酒井裕二
2017年5月20日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

宿題

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/